

特集 多摩市のまちが

大きく変わります！



ガーデンシティ多摩センター
こどもまつり2018



せいせきみらいフェスティバル2018



永山フェスティバル2018

【特集】多摩市のまちが大きく変わります！

目次	多摩センター駅周辺が変わります！	2～5ページ
	聖蹟桜ヶ丘駅周辺が変わります！	6ページ
	永山駅周辺が変わります！	7ページ
	未来へと続くまちづくり、市長から一言	8ページ

選ばれる多摩市・住み続けたい多摩市を目指して



多摩市は2021年に**市制施行50周年**を迎えます。市では、**次の50年**に向け、まちの顔である各駅周辺の再整備を進めています。未来への投資により、まちの魅力をさらに向上させ、選ばれるまち、住み続けたいまちを目指していきます。

今号では、多摩市の5年後の姿と一緒にイメージしていただくために、取組内容や今後の予定についてお知らせします。

多摩市長 阿部 裕行

多摩センター駅周辺が変わります！～パルテノン多摩～

文化芸術を通して、みんなが喜び、つながり、まちの魅力を創造する施設へ！

大小ホール

プロの公演だけではなく、市民の憧れの舞台であり、「市民の創造活動を支えるホール」となって、市民の皆さんの「やりたい！」に応えます



Poco Poco Festa2018/多摩市文化振興財団・NPO法人 多摩子ども劇場提供

ミュージアム

多摩市の大切な歴史、郷土文化、先人の思いを次世代に引き継ぐ拠点施設として、市民が楽しみ、学び、みんなで創る博物館とします

みんなの広場

障がいのある方も、高齢の方も、誰でも気軽に立ち寄り、ゆっくり、くつろぐことができる、交流の輪が広がる空間を創ります

パルテノン多摩

子育て広場

みんなで楽しく元気に遊ぶ、ひとりでゆっくり本を読む、保護者も安心、お茶を飲みながら一緒に楽しい会話、そんな子どものためのスペースが生まれます

改修事業費 概算

劣化の回復や、バリアフリー等の法令対応のほか、使いやすい施設として「再生」するため、改修事業費は約80億円となりました。財源には、「都市計画税」を活用することとしました。

基本計画（2018年8月策定）をみんなで作りました！

■基本計画策定委員会 基本計画の骨格として施設の理念と方針を定め、それに適した改修概要を想定しました。

■市民 無作為抽出アンケート、市民説明会、パブリックコメント、講演会等、多くの皆さんからご意見をいただきました。

■市民ワークショップ 議論した結果、「市民協働の運営」「イノベーション創発の場」「市民が立ち寄り、出会いの場」「話題となる思い出のできる場」というパルテノン多摩のビジョンと空間が成果として生まれました。

■専門家 多摩センター活性化に向けて、市民が主役の施設にするにはどうするかを、各専門家から提案いただきました。

■市議会 パルテノン多摩を再生するという議論のもと、子育て支援機能など新たな役割を提案いただきました。

市民参画で、さらに議論を深めます



市民ワークショップの様子

今後の予定

2018年度～2019年度に設計を行い、2020年度から改修工事、2022年3月にプレオープンする予定です。これに伴い、パルテノン多摩は、2020年4月1日（大ホールは2018年12月1日）から2022年2月（予定）まで休館します。



©多摩市文化振興財団

パルテノン多摩、図書館本館は

〈問い合わせ〉くらしと文化部 文化・市民協働課 電話042-338-6882

多摩センター駅周辺が変わります！～図書館本館～

市民の“知る”を支えるため、図書館サービスネットワークを充実！

どんな資料が？

- 開架冊数：現本館10万冊→30万冊
- データベースや新しいメディアも充実
- 夕食の献立から専門的な調べごとや地域の課題の解決にも役立つ

どんな施設に？

- 楽しい広場系エリアと落ち着いた静寂系エリア、2つの特徴ある開架室をつくる
- 多様な出会いが生まれる、市民活動につながる、ビジネスにも役立つ
- 施設規模（延床面積）5,500㎡程度
- 本の貸し出しだけでなく、みんなの居場所に
- 整備事業費約45億円（基本計画より）
※図書購入費等の事業費も含む

どこに？

- 多摩中央公園の北西角地（レンガ坂沿い）に、公園とのつながり・一体性に配慮した建物を整備
- パルテノン多摩や周辺施設との連携による相乗効果

図書館本館 を 中央図書館に

運営にどんな工夫を？

- 開館時間の充実
- ICTの活用による省力化と専門化
- 市民活動との連携、ボランティアの活動支援、職員の育成
- 市内7図書館ネットワークの充実とサービス向上

※写真はイメージです

基本計画（2018年8月策定）をみんなで作りました！

- **基本計画検討委員会** 2017年3月に策定した基本構想の基本理念である「知の地域創造」を支える中央図書館の実現に向けて、審議を重ねました。
- **市民** 市民グループのヒアリングや市民フォーラム、パブリックコメント等を通じ、多くの皆さんからご意見をいただきました。また、基本計画検討委員会でも、資料の事前公開と意見募集を実施するなど、皆さんとともに検討しました。
- **市議会** パルテノン多摩との連携と機能分担を意識した施設整備と運営を行うことで、サービス向上とコスト削減の両立に努めるべきとの提案をいただきました。



市民フォーラムの様子

今後の予定

2018年度～2019年度に設計を行い、2020年度から建設工事、2022年秋に開館する予定です。



連携して取り組みを進めます！

〈問い合わせ〉教育部 図書館本館 電話042-373-7955

多摩センター駅周辺が変わります！

～2022年から多摩中央公園周辺が生まれ変わります！

市民のオアシスである多摩中央公園には、日常的に市民の皆さんが集う場としてリニューアルするパルテノン多摩、都市の緑化を推進するための拠点であるグリーンライブセンター、多摩市の歴史を語る古民家である旧富澤家があり、さらに、「知の地域創造」の中核を担う図書館本館も再整備する予定です。

グリーンライブセンター **魅力UP!**

- みどりについての知識や情報を提供する施設です。
- 建築からまもなく30年を迎えることから、より使いやすい施設になるよう改修します。

多摩センター駅周辺 **魅力UP!**
(都市再生整備計画の取り組み)

- パルテノン大通り周辺に、分かりやすい案内サインなどを設置するよう検討します。
- ハローキティストリートにストリートファニチャー（植栽一体型ベンチ）を設置するほか、オープンカフェを実施します。

多摩中央公園改修 **リニューアル!**

- バリアフリーに対応し、ベビーカーも通やすく、高齢の方も歩きやすい園路にします。
- 樹木を整理し、安心できる明るい公園にします。
- みんなが楽しめる公園にするため、ワークショップで検討中です。

旧富澤家 **さらに活用**

- 18世紀中頃の建造物を連光寺地区から移築し、平成5年に開館
- 文化財資料の展示や絵本の読み聞かせなど、パルテノン多摩や図書館との連携事業を実施します。
- 家の一部を団体利用できます。

進出する企業も増えています! **ポイント**
※8ページをご参照ください。

新たに進出した企業

- 株式会社長谷工コーポレーション
- KDDI株式会社 (2020年竣工予定)
- TIS株式会社 (アグレックス)

多摩センター駅周辺施設の改修・建設予定 ※本スケジュールは、変更する場合があります。

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
パルテノン多摩	基本計画策定	基本設計・実施設計 大ホール使用中止	改修工事 全館休館期間	準備	★グランドオープン ★プレオープン
図書館本館	基本計画策定	基本設計・実施設計	建設工事	準備	★オープン
多摩中央公園	基本方針策定	基本設計・実施設計		改修工事	(2023年度まで)
グリーンライブセンター			基本設計・実施設計	改修工事	(2023年度まで)
都市再生整備計画の取り組み		実施			
・オープンカフェ					
・ストリートファニチャー (植栽一体型ベンチ)の設置	設置工事	★完成			

聖蹟桜ヶ丘駅周辺が変わります！～駅北側・多摩川沿いの地区が大変身！～

聖蹟桜ヶ丘駅から歩いて5分、自然と眺望豊かな多摩川を臨む「聖蹟桜ヶ丘北地区」が民間施行者による土地区画整理事業（※）で大きく生まれ変わります！

これを契機に、市民の皆さんや商店会、事業者等と協力して街の魅力向上に向けて取り組んでまいります。住宅と商業・業務機能が複合した土地利用を図り、さらに水辺空間を利用したイベントの実施などにより多くの方に足を運んでいただくことで、人の往来や駅周辺への賑わいが生まれ、多摩市の魅力が高まることにつながります。



※土地区画整理事業とは

公共施設の整備改善や宅地の利用増進を図るために、土地の区画形質の変更と公共施設の 신설又は変更を行う事業のこと。

土地の形や大きさはきれいに整えられ、安全で快適な暮らしやすい街ができます。

■事業イメージ

施行前



施行後



聖蹟桜ヶ丘北地区土地区画整理事業 計画図

- 道路や公園等が整備拡張され、駅から多摩川へ抜けるルートが大幅に改善します。
- “川”と“街”が身近になり、駅から“川”へ容易に人が行き来できるようになります。
- 新設される堤防道路は盛土でかさ上げし、桜の植樹を行うことで水と緑の憩いの空間とします。
- 電線類の一部地中化や芝生広場の公園を整備し、景観や防災機能に配慮した基盤整備が行われます。



◆今後のスケジュール

- 土地区画整理事業は2019年度中に完了する予定です。
- その後、商業・業務施設と集合住宅が調和した市の玄関口にふさわしい外観となる建築物が計画されるよう事業者と協議していきます。
- 聖蹟桜ヶ丘駅周辺が活気と賑わいのある街となることを目指して、事業者と連携協力して街づくりを進めていきます。

〈問い合わせ〉 都市整備部 都市計画課 電話042-338-6868

永山駅周辺が変わります！～ニュータウン再生・まちづくり計画～

◆ニュータウン再生の取り組み

市では2016年3月に多摩市ニュータウン再生方針を策定、その後、学識経験者・市民・事業者・行政で構成する再生推進会議を設置し、連携・調整しながらニュータウン再生に取り組んでいます。

現在は、ニュータウン初期に建設された都営住宅の建替えや、南多摩尾根幹線道路整備の進められ、諏訪・永山地区では国の交付金を活用した公園・遊歩道等の再整備や分譲団地再生への支援を行っています。



◆諏訪・永山まちづくり計画

2018年2月には、2040年代の目指すべき将来都市像を示す「多摩ニュータウン リ・デザイン 諏訪・永山まちづくり計画」を策定しました。

2018年度は、計画のリーディングプロジェクトの一つである永山駅周辺の再構築に向けた取り組みを始め、市民ワークショップを開催し、「市民と共に描く永山駅周辺再構築ビジョン」を作成しています。



〈問い合わせ〉都市整備部 都市計画課 電話042-338-6959

◆日医大多摩永山病院の建替えに向けて

多摩市の重要な医療拠点である日医大多摩永山病院の建替えに向けた検討を進めています。

〈これまでの経緯〉

2011年1月	多摩市と学校法人日本医科大学（日医大）で「確認書」を締結（日医大多摩永山病院を旧東永山小学校跡地（東永山複合施設）に開設することに向けて、双方努力する）
2018年5月	日医大から多摩市に要望書が提出される（2011年1月の確認書を見直し、旧東永山小学校跡地ではなく、永山駅周辺での用地の確保を要望）

多摩市は、永山駅周辺で唯一、総合病院の建設が可能な用地を保有する「UR都市機構」と、旧東永山小学校跡地との土地交換の可能性について協議しています。

この件について、2018年9月市議会定例会で土地交換に係る不動産鑑定と用地測量の補正予算が可決されました。現在、土地交換契約を目指して、UR都市機構と協議を進めています。

学校法人日本医科大学（日医大多摩永山病院）

- ・救急医療の拠点病院で市民の安全と安心を守っています。
- ・建物の老朽化が深刻で対策が急務です。

永山駅周辺の用地を要望 ↓

多摩市

- ・救急医療の拠点、地域医療の核である日医大多摩永山病院の存在は重要です。
- ・ニュータウン再生の重要な拠点である永山駅周辺の再構築を目指しています。



UR都市機構 (旧多摩ニュータウン事業本部用地)

- ・多摩市のまちづくりに協力する意向です。



〈問い合わせ〉企画政策部 行政管理課 電話042-338-6940

未来へと続くまちづくり



ご覧いただきましたように、多摩市のまちは今後、大きく変わります。将来的に人口が減少し、税収の減少も見込まれる中、まちの元気を向上させる様々な取り組みを進めてきました。これまでの成果を大事にしながら、未来へと続くまちづくりを着実に進めていきます。

収入確保の取り組み

多摩市では、企業誘致の取り組みを行い、多摩センター地区には多くの企業が進出しています（5ページ参照）。

企業誘致により駅周辺に賑わいが創出されるとともに、税収確保につながります。

例えば、固定資産税の償却資産分（企業や個人事業主が設備投資を行った際の資産に課税される税）は、市民一人当たりの金額で都内26市中第1位！多摩市の財政にとって大変貴重な財源になっています。

2017年度固定資産税～市民一人当たり～（償却資産分）

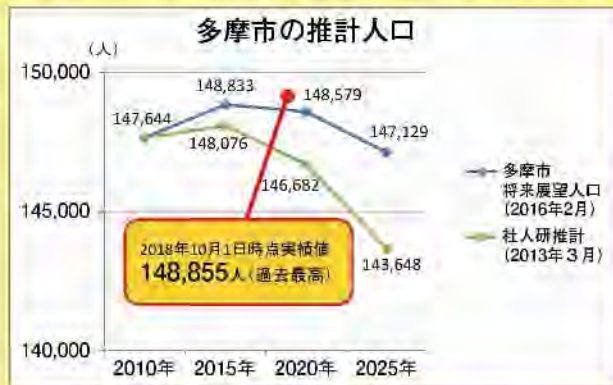


人口の推移

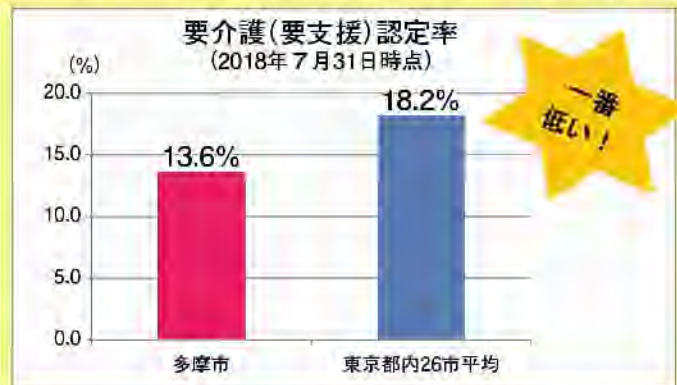
多摩市の人口は、将来的には減少が見込まれますが、現状では新築マンション建築の影響等により、微増傾向にあります。2018年10月1日現在の人口は過去最高の148,855人と、社人研（国立社会保障・人口問題研究所）の推計人口を上回り、おおむね多摩市の目標（将来展望人口）どおりに推移しています。

また、多摩市は、介護保険制度の「要介護（要支援）」と認定された方の割合が都内26市中、一番低い！元気な高齢者が多いまちです。

多摩市が目指す「健幸都市（スマートウェルネスシティ）」は、未来のまちづくりへと続いていきます。



※各年10月1日時点での人口
【出典】多摩市の目標（将来展望人口）：国勢調査、実績値；住民基本台帳人口



市長から一言

「みんなのまち多摩」の大きな魅力アップに向けて



少子化・超高齢化・人口減少社会が進み、今後も厳しい財政状況が続くと見込まれますが、多摩市はピンチをチャンスととらえ、積極的に未来への投資を行います。一方で、時代のニーズに合わせて施設や仕組みの機能転換を図ることも大切です。「行財政刷新計画」や「公共施設の見直し方針と行動プログラム」など、不断の行財政改革の努力を行いながら、賢く縮むことで、収支のバランスのとれた持続可能な財政運営を行い、まちの魅力を高めていきます。

多摩市長 阿部 裕行